

中井英策商店とお客様を結ぶコミュニティ新聞

きんきん新聞

 株中井英策商店発行
 第39号

日頃は当社並びに、当社製品に対し格別のお引き立てを頂き、真頃に有難うございます。

昨年は、依然終息の見通しが立たないこのコロナ禍にありながら、お歳暮商戦ではいつも以上の沢山のご注文を頂き、心から厚く御礼申し上げます。有難うございました。

そしかながら、昨年末には、想定を大きく上回るご注文を頂き、早々に品切れを起こしてしまい、折角のご注文を頂きながら、それにお応

昨年末の相次ぐ品切れに

心からお詫び申し上げます

え出来ない状態となつてしまい、大変なご迷惑をおかけ致しました。

改めまして、心からお詫び申し上げます。

飯寿司は発酵食品の為、発酵熟成期間が必要なため、急なご注文にお応えするのが難しい商品であります。

ます。しかし今後は、昨年の反省を生かし、生産体制の整備を進めて参る所存でございます。

どうか、変わらぬご愛顧をお願い申し上げます。

(株)中井英策商店

代表取締役 及川恭弘



未知分野の挑戦評価される

当社「ビーフズーシー」 新製品開発道知事賞受賞

先月キンキン新聞速報の通り、当社の新製品「ビーフ・ズーシー」が北海道主催の新商品開発技術賞の食品部門での北海道知事表彰を受賞、昨年末道庁で行われた表彰式で当社及川社長が表彰を受けた。

表彰式では、北海道副知事から表彰状と盾が手渡され、「北海道を代表する新たな新商品が開発されたことは大変嬉しいこと。これからも広く道民のために「尽力下さい」と励ましを受けた。

同開発賞を受けた当社「ビーフ・ズーシー」は、北海道長沼町産のブランド牛「馬追和牛」を使った飯寿司で、昨年末に当社が開発して発売した業界初の牛肉の飯寿司で、業界内外から大きな注目を集めている。

写真上は、道副知事から表彰を受ける中井英策商店の及川社長(右)、は受賞した賞状

昨年末もTV取材相次ぐ

「季節の風物詩」とTV担当者



写真上は、HTBさん、下はUHBさんの取材撮影の様様

当社、中井英策商店には、道内テレビ局の取材ロケが相次いだ。

昨年秋の一〇月から十二月にかけて、当社には北海道放送さんをはじめ、道内テレビ局がほぼ全局、取材ロケで訪問、ニュース番組などの紹介が行われた。

毎年撮影で訪れるあるテレビ局の記者は「中井商店さんの工場を訪ねるのは、すっかり季節の風物詩になった。年末の到来を思わせる映像にしたい」と語った。

映像では、当社いずし工場内の作業風景をメインに、及川代表のインタビューなどで構成されていた。また、札幌テレビ放送で行われたテレビショッピング番組では、当社製品が初日の放送で予定数量を完売するなど例年以上の反響を呼んだ。



新年明けましておめでとございます。

旧年中は、大変お世話になり、有難うございます。

今年も何卒宜しくお願い申し上げます。

さて、昨年はコロナに明け、コロナに暮れた生憎の暗い年となりました。

この先は一体どうなってしまうのか？予想も出来ない霧の中で必死にもがいて一年が過ぎてしまった気がしますが、皆様におかれましては如何でしたでしょうか？

当社も、この暗闇の中にあっても、希望は捨てず、いつもと同じように、美味しい飯寿司を作り続けたい、同業他社どもも試みたことの無い新製品の開発などに努めて参りました。

その結果、世の情勢は極めて厳しい状況下にあつて



生産管理体制強化へ お得意先のフォロー万全に

も、何とか無事に年を越すことが出来ました。

大変有り難いことと感謝申し上げます。

今年も、依然終息が見通せないコロナ禍ではありますが、当社伝統の味を守り、美味しい飯寿司作り、お客様にご支持頂ける商品開発を進めると同時に、さらなる生産体制の強化整備、衛生管理の徹底に努めて参ります。

何卒、変わらぬご支援、ご厚情をお願い申し上げます。

コロナ禍が一日も早く終息し、皆様と笑顔でお会い出来る日が来ますことを祈りながら、新年のご挨拶とさせていただきます。

（株）中井英策商店
代表取締役 及川恭弘